

◆開催概要

日時：10月25日（火） 13:30～16:30  
 場所：田老総合事務所 出席者：検討会メンバー19名

まちづくりの方針について出た主な意見

まちづくりの方針については、3班で意見を出し合った結果、大きく以下の4つの方針に意見の集約、共有が図られました。

誰もが安心して住めるまち、災害に強いまち

- ・水害に強いまち ・津波の心配が無いまち ・田老は安心だといえるまち
- ・津波被害を風化させたくない ・絶対子や孫を危険な目にあわせたくない
- ・克災（国際）的なまち ・津波防災のまち モデル地区 ・エネルギーの自給自足
- ・海が見える高台のまち ・災害で二度と泣くことの無いまち ・生命を守りたい
- ・誰もが安心して住めるまち津波に対し安全なまちづくりをしたい
- ・津波が来る場所にいるという意識を持ちいつでも避難できるよう毎年訓練を続ける
- ・人工防災に頼らず、安心なまち ・先人の知恵が生きている、残っているまち
- ・水門の無い、消防団員もすぐ逃げられるスロープのある施設のあるまち
- ・津波災害の写真やビデオを生かして津波の実態を知らせる資料館を建てる
- ・佐賀部から三王岩に向けて防波堤（湾口）の築造 ・避難路にスロープ整備

住環境が良く、人に優しいまち、楽しいまち、ふるさとといえるまち

- ・生活環境をよくしたい ・若者にとっても環境の良い住みよいまち
- ・「ふるさとだ！」と思えるまち ・人づくり ・住民一人ひとりの顔が見えるまち
- ・誰もが住みたいと思うようなまちにしたい。自然の海、川、山。
- ・自然に親しみ、四季を通して住民が住んで良かったと言えるまち
- ・住んでいる人が楽しいまち ・海辺や磯場で子どもたちが楽しむまち
- ・健康、医療に自信、安心が持てるまち ・医、食、住のそろったまち
- ・子供の笑顔と笑い声が聞けるまち ・子や孫が安心してずっと暮らせるまち
- ・小さい子供と高齢者が交流できる施設を整備する ・弱者にやさしいまち
- ・高齢者が安心して暮らせるまち ・観光面でも魅力のあるバリアフリーのまち

漁業のまち、観光のまち、海と親しむまち

ワカメなら田老の漁業の盛んなまち

- ・ワカメなら田老というようなまちにしたい
- ・漁業者が安全操業できる基盤作り
- ・漁業を中心とした第1次産業が中心の産業
- ・「海」と親しく付き合えるまち

観光のまち

- ・海産物もお菓子も遠くから買いに来たいと思う土産のあるまち
- ・観光のまち（防潮堤、三王岩）
- ・三王岩の国宝化

漁業と観光の融合したまち

- ・田老を売り出す産品と観光 ・漁業と観光のまちづくり
- ・体験型観光漁業をとりいれていく



商業のまち、製造業のまち、産業が盛んなまち

- ・活気ある商店街の復活 ・野原地区 水産加工団地 ・製造業者の居るまち
- ・産業が復興し仕事に活力があるまち ・企業が進出しやすいまち
- ・NPOでも何でも事業提案をして支援を、お金をつかみとれる若者を育てる

